

番号	科	名称	天気	19年度観察数												観察月数	観察数合計	
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
				12	18	12	10	20	11	9	5	11	13	12				
1	カモ	カルガモ			4												1	4
2	ハト	キジバト		3	1	2	4		2		2	2	1	1			9	18
3	カウコウ	ツツドリ															0	0
4	トビ	トビ	VU														0	0
5	タカ	ツミ	CR														0	0
6	キツツキ	コゲラ		2	2	5	5		2	2	4	3	2	2			10	29
7	キツツキ	アカゲラ	NT														0	0
8	キツツキ	アオゲラ	NT	1	1			2	1	1			1	1			7	8
9	ハヤブサ	ハヤブサ	VU														0	0
10	モズ	モズ	VU							1							1	1
11	カラス	カラス															0	0
12	カラス	オナガ			2	3	4		1	6		6					6	22
13	カラス	ハシボソガラス		2			7	3	5	3	2	8	1	3			9	34
14	カラス	ハシブトガラス		3	6	4	4	10	12	6	6	6	4	2			11	63
15	シジュウカラ	ヤマガラ									1	2	1	1			4	5
16	シジュウカラ	シジュウカラ		8	10	8	23		11	18	18	2	7	8			10	113
17	ツバメ	ツバメ		1			11										2	12
18	ツバメ	イワツバメ					2										1	2
19	ヒヨドリ	ヒヨドリ		14	14	14	7		7	23	29	15	20	14			10	157
20	ウグイス	ウグイス	NT	4			2				4	2	2	1			6	15
21	エナガ	エナガ	NT	2		3	21		12			10	15	4			7	67
22	メジロ	メジロ		4	6		19		5	6	7	16	11	2			9	76
23	ムクドリ	ムクドリ			19		21						5				3	45
24	ヒタキ	シロハラ		1													1	1
25	ヒタキ	ツグミ											1	1			2	2
26	ヒタキ	ルリヒタキ															0	0
27	ヒタキ	ジョウビタキ															0	0
28	スズメ	スズメ															0	0
29	セキレイ	ハクセキレイ															0	0
30	アトリ	アトリ															0	0
31	アトリ	カラビロ															0	0
32	アトリ	シメ									1			1			2	2
33	アトリ	イカル	NT														0	0
34	ホオジロ	アオジ		2													1	2
観察種数 月 / 年				13	10	7	13	3	10	9	10	11	13	13	0		21	



アオゲラ



シロハラ



キジバト



コゲラ



メジロ



ヒヨドリ幼鳥



食痕



アオゲラ



エナガ



ツグミ



ヒヨドリ成鳥

月	19年度 コメント
4	ウグイスの囀りが聞こえた。アオゲラ を観察。シロハラ が地上で採餌していた。
5	歩く先々でムクドリが採餌し、飛び交っていた。ガビチョウが営巣しているようだ。
6	シジュウカラの幼鳥が飛び回っていた。シジュウカラ、コゲラ、エナガの混群が見られた。
7	武蔵台公園では、イワツバメは初認。シジュウカラ、エナガ、メジロ、ヒヨドリの幼鳥を確認。繁殖を証明。キジバトと思われる食痕確認。猛禽類のイサ場となっている。
8	19日夜半の雷雨で散策路の枯葉が流され綺麗になっていた。鳥の声も姿も少ない中、藪でガビチョウが2羽動き回っていた。
9	9日早朝の台風の影響で倒木が見られた。カラスの数が目立ったが、シジュウカラ、エナガなどの混群が観察された。
10	アオゲラの鳴声が聞こえ、を確認。混群が見られず、エナガが確認できなかった。
11	今季初のシメが姿を現わした。ヒヨドリが全域で追いかけあう姿が見られた。ウグイスの地鳴きが聞こえ、ヤマガラが現れた。
12	エナガ、メジロ、コゲラの混群が観察されたが、その中に、シジュウカラの姿は見られなかった。オナガの群れも観察された。
1	天候も良く、盛んにムシをとる姿がじっくり観察できた。今シーズン初めてツグミの声を確認。旧警察病院との間の堀が撤去されていた。
2	旧警察病院の樹木の伐採が進み、以前小鳥が来ていた木も切られていた。混群がばらけている。藪にソウシチョウ、ガビチョウが来ていた。
3	

注1: 表の最下段は月ごとの観察種数と年間の観察種数。

注2: 名称欄記号は、2010年度東京都レッドデータ、北多摩のカテゴリ表示。

その他

観察月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
カラハト		4						2			8	23	
ガビチョウ			2			2		2			2	2	
ソウシチョウ												3	
ホンセイインコ			2										

レッドリスト表示について

名称欄に東京都レッドリストの Kategorie 表示を行った。Kategorie 表示の条件を以下に示す。

2010年版 東京都レッドリスト

対象地域 北多摩の評価による

カテゴリー名称	表示	基本概念
絶滅危惧 A類	CR	ごく近い将来における野生で絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧 B類	EN	A類ほどではないが、ごく近い将来における野生で絶滅の危険性の高いもの
絶滅危惧 類	VU	現在の状況をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、使い将来「絶滅危惧 類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
準絶滅危惧	NT	現時点での絶滅危険度は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧」としての上位ランクに移行する要素を有するもの